南陽市遺跡分布調査報告書（12）

市内遺跡分布調査
第六次長岡南森遺跡確認調査（概報）

2024年3月

南陽市教育委員会

南陽市埋蔵文化財調査報告書第二十五集
南陽市遺跡分布調査報告書(12)
第六次長岡南森遺跡確認調査（概報）
南陽市教育委員会

南陽市遺跡分布調査報告書（12）

南陽市埋蔵文化財調査報告書第 25 集
市内遺跡分布調査
第六次長岡南森遺跡確認調査（概報）

令和６年３月

南陽市教育委員会

長岡南森遺跡　ＳＴ３調査状況（南東より）

長岡南森遺跡　ＳＴ３遺物出土状況（北東より）

長岡南森遺跡　ＳＴ３調査状況
巻頭写真１

長岡南森遺跡　Ｔ 20 ｄ完掘状況（西より）

長岡南森遺跡　Ｔ 20 ｄ完掘状況
巻頭写真 2

序

この度、「南陽市遺跡分布調査報告書（12）」を発行する運びとなりました。本書は、南陽市教育委員会が、令和５年度に国庫補助事業（市内遺跡発掘調査等事業）として、各種の開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るために実施した踏査・試掘調査・工事立会等の分布調査の成果および「長岡南森遺跡」の第６次確認調査の概要をまとめたものです。

「長岡南森遺跡」については、遺跡の性格を明らかにし、その保全等に活用するため継続して調査を実施しております。当初は遺跡のある丘陵の形状から大型古墳の可能性を視野に調査を行ってまいりましたが、第５次、第６次調査の結果、古墳である可能性は低くなり、独立弧丘上に営まれた特殊な様相を持つ古墳時代の集落遺跡であることが明らかになってきました。位置や時代等から隣接する稲荷森古墳と不可分な関係にある重要な遺跡であり今後も調査を継続してまいります。

また、本市には、「長岡南森遺跡」以外にも旧石器時代から中世に至るまで数多くの遺跡がございます。遺跡は、その土地や地域の歴史を明らかにする貴重な宝です。この宝は、世代を越えて歴史と文化を伝え、故郷を愛する心やそこに生きる人々の誇りを育む心の糧となるものであり、大切に守っていかなければなりません。引き続き皆様の御理解と御協力、ならびに関係各位の御指導をお願いいたします。

結びになりますが、本報告書作成にあたり、各種調査に御指導と御協力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

令和６年３月

南陽市教育委員会
教育長　長濱　洋美

目　次

市内遺跡分布調査

Ⅰ　調査の概要
1　調査の目的と概要…… 5
2　調査方法…… 5

Ⅱ　踏査
1　小屋館跡　…… 11
2　下荻館跡…… 13
3　小岩沢地区一里塚…… 15
4　大洞地区…… 16

Ⅲ　試掘調査
1　沢田遺跡…… 17
2　北町遺跡…… 19
3　富貴田遺跡…… 20
4　久保遺跡…… 21
5　蒲生田館跡…… 22
6　富貴田遺跡…… 23
7　清水上遺跡…… 24
8　矢ノ目館跡…… 26
9　西田遺跡・樋ノ口遺跡地…… 27
10　岩部山館跡　…… 29
11　李ノ木遺跡　…… 30

Ⅳ　立会調査
1　久保遺跡…… 32
2　二色根館跡…… 33
3　矢ノ目館跡…… 34
4　宮内小学校敷地内遺跡隣地…… 35
5　富貴田遺跡隣地…… 36
6　池黒字長表…… 37
7　沢田遺跡…… 38
8　宮内字田町…… 39
9　長岡字東田中…… 40
10　諏訪前遺跡　…… 41
11　三間通字諏訪西　…… 42
12　宮内字砂押一　…… 43
13　植木場一遺跡　…… 44
14　久保遺跡　…… 45
15　唐越遺跡　…… 46
16　若狭郷屋字浦城跡　…… 47
17　大清水遺跡　…… 48
18　久保遺跡　…… 49
19　西田遺跡　…… 50
20　平館跡　…… 51
21　久保遺跡　…… 52
22　宮内字田町二　…… 53
23　早稲田遺跡　…… 54
24　池黒字松畑　…… 55

Ⅴ　中世城館等測量調査
1　調査概要と目的…… 57
2　調査方法…… 57
3　測量方法と経過…… 58
4　主な成果…… 58

第六次長岡南森遺跡確認調査（概報）
Ⅰ　調査の経緯と目的…… 67
Ⅱ　遺跡の位置と環境…… 73
Ⅲ　調査の概要…… 74
Ⅳ　調査結果…… 87
Ⅴ　炭素年代測定について…… 92

図　版

第１図　調査位置図（１）…… 6
第２図　調査位置図（２）…… 7
第３図　調査位置図（３）…… 8
第４図　小屋館跡位置図…… 11
第５図　小屋館踏査ルート…… 11
第６図　下荻館跡位置図…… 13
第７図　下荻館踏査ルート…… 13
第８図　小岩沢一里塚想定位置図…… 15
第９図　大洞地区調査踏査ルート…… 16
第１０図　沢田遺跡調査位置図…… 17
第１１図　沢田遺跡トレンチ配置図…… 17
第１２図　沢田遺跡ＴＴ１平面図・断面図…… 17
第１３図　沢田遺跡ＴＴ２トレンチ土層柱状図…… 17
第１４図　北町遺跡調査位置図…… 19
第１５図　北町遺跡トレンチ土層柱状図…… 19
第１６図　北町遺跡トレンチ配置図…… 19
第１７図　富貴田遺跡調査位置図…… 20
第１８図　富貴田遺跡トレンチ土層柱状図…… 20
第１９図　富貴田遺跡トレンチ配置図…… 20
第２０図　久保遺跡調査位置図…… 21
第２１図　久保遺跡トレンチ柱状図…… 21
第２２図　久保遺跡トレンチ配置図…… 21
第２３図　蒲生田館跡調査位置図…… 22
第２４図　蒲生田館跡トレンチ柱状図…… 22
第２５図　蒲生田館跡トレンチ配置図…… 22
第２６図　富貴田遺跡調査位置図…… 23
第２７図　富貴田遺跡トレンチ柱状図…… 23
第２８図　富貴田遺跡トレンチ配置図…… 23
第２９図　清水上遺跡調査位置図…… 24
第３０図　清水上遺跡トレンチ柱状図…… 24
第３１図　清水上遺跡トレンチ配置図…… 24
第３２図　矢ノ目館跡調査位置図…… 26
第３３図　矢ノ目館跡ピット柱状図…… 26
第３４図　矢ノ目館跡ピット配置図…… 26
第３５図　西田遺跡・樋ノ口遺跡調査位置図…… 27
第３６図　西田遺跡・樋ノ口遺跡トレンチ柱状図…… 27
第３７図　西田遺跡・樋ノ口遺跡トレンチ位置図…… 27
第３８図　岩部山館跡調査位置図…… 29
第３９図　岩部山館跡ピット柱状図…… 29
第４０図　岩部山館跡ピット配置図…… 29
第４１図　李ノ木遺跡調査位置図…… 30
第４２図　李ノ木遺跡トレンチ柱状図…… 30
第４３図　李ノ木遺跡トレンチ配置図…… 30
第４４図　久保遺跡調査位置図…… 32
第４５図　二色根館跡調査位置図…… 33
第４６図　矢ノ目館跡調査位置図…… 34
第４７図　宮内小学校敷地内遺跡隣地調査位置図…… 35
第４８図　富貴田遺跡隣地調査位置図…… 36
第４９図　池黒字長表調査位置図…… 37
第５０図　沢田遺跡調査位置図…… 38
第５１図　宮内字田町調査位置図…… 39
第５２図　長岡字東田中調査位置図…… 40
第５３図　諏訪前遺跡査位置図…… 41
第５４図　三間通字諏訪西調査位置図…… 42
第５５図　宮内字砂押一調査位置図…… 43
第５６図　植木場一遺跡調査位置図…… 44
第５７図　久保遺跡調査位置図…… 45
第５８図　久保遺跡ピット柱状図…… 45
第５９図　久保遺跡ピット配置図…… 45
第６０図　唐越遺跡調査位置図…… 46
第６１図　若狭郷屋字浦城調査位置図…… 47
第６２図　大清水遺跡調査位置図…… 48
第６３図　久保遺跡調査位置図…… 49
第６４図　西田遺跡調査位置図…… 50
第６５図　平館跡調査位置図…… 51
第６６図　久保遺跡調査位置図…… 52
第６７図　宮内字田町二調査位置図…… 53
第６８図　早稲田遺跡調査位置図…… 54
第６９図　池黒字松畑調査位置図…… 55
第７０図　調査遺跡位置図…… 57
第７１図　計測飛行範囲図…… 58
第７２図　大滝沢館跡略図…… 59
第７３図　雪ヶ沢物見台略図…… 59
第７４図　深沢館跡略図…… 60
第７５図　和田館山館跡略図…… 60
第７６図　片岸館跡略図…… 61
第７７図　赤松山館跡略図…… 61
第７８図　漆山館跡（古舘・新山館）略図…… 62
第７９図　稲荷山物見跡（北側）阿弥陀山物見台（南側）略図…… 62
第８０図　長岡南森遺跡平面図…… 69
第８１図　Ｔ１９トレンチ…… 75

第82図　T 20 aトレンチ …… 76
第83図　T 20 bトレンチ …… 78
第84図　T 20 cトレンチ …… 79
第85図　T 20 dトレンチ（1）…… 81
第86図　T 20 dトレンチ（2）…… 82
第87図　T 21 トレンチ …… 83
第88図　T 22 bトレンチ …… 85
第89図　T 22 cトレンチ …… 87
第90図　T 22 dトレンチ …… 88
第91図　T 23 トレンチ …… 89
第92図　T 22 eトレンチ …… 90
第93図　T 24 トレンチ …… 90

表

表1　分布調査表…… 9
表2　グリッド数値表……67

巻頭写真

巻頭写真1　長岡南森遺跡　ＳＴ３調査状況
巻頭写真2　長岡南森遺跡　T 20 d完掘状況

長岡南森遺跡確認調査写真図版

写真図版1　第19トレンチ
写真図版2　第20 a・bトレンチ
写真図版3　第20 cトレンチ（1）
写真図版4　第20 cトレンチ（2）
写真図版5　第20 dトレンチ
写真図版6　第21トレンチ
写真図版7　第22 b・c・dトレンチ
写真図版8　第22 e・24トレンチ
写真図版9　第23トレンチ
写真図版10　出土土器

市内遺跡分布調査

本報告は、文化庁の補助を受けて令和５年度に南陽市教育委員会が実施した開発事業との調整、遺跡台帳（遺跡地図）整備に関する市内遺跡分布調査報告である。

調査は、南陽市教育委員会が実施した。

出土遺物、調査記録類は報告書作成後、南陽市教育委員会が保管する。

凡　例

調　査　主　体	南陽市教育委員会社会教育課埋蔵文化財係
調　査　期　間	令和５年４月１日から令和６年３月31日
発掘調査担当者	社会教育課長　　山口広昭
	調　査　主　任　　角田朋行（課長補佐兼埋蔵文化財係長）
	埋蔵文化財係再任用職員　江口利明
	埋蔵文化財係会計年度任用職員　斉藤紘輝
整理作業担当者	埋蔵文化財係会計年度任用職員　吉田江美子
	埋蔵文化財係会計年度任用職員　山田　渚

1　本報告書の執筆は角田朋行・斉藤紘輝が担当し、遺物整理作業・遺物写真撮影は山田渚、報告書デジタル編集・構成作業は吉田江美子、山田渚が担当した。

2　挿図の縮尺はスケールで示した。

3　本書で使用した遺構の分類記号は下記の通りである。

ＳＤ・・・溝跡　　ＳＰ・・・ピット　　ＳＫ・・・土坑

ＴＴ・・・テストトレンチ　　ＴＰ・・・テストピット

4　写真図版は任意の縮尺で採録した。

5　本書で使用した地図は国土地理院発行「赤湯」「羽前小松」「中川」２万５千分の１である。

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的と概要

今年度は、従来の住宅地造成と個人住宅建設に加え、事業用の倉庫建設など各種開発との調整を図り、遺跡の保護のための試掘調査および工事立会を実施した。

各種調査に伴い遺跡台帳整備も順調に成果が上がってきているが、未調査地域はまだ残されている。特に市域の７割を占める山間地や、古くからの住宅地も未調査地域が多い。また、周知の遺跡でも情報が少ない遺跡が存在するため、それらも含めて遺跡台帳整備のための分布調査を継続している。

令和５年４月から 12 月までの開発行為に伴う遺跡所在の有無に関する照会は、計 81 件であった。直接的な対応を実施した件数は計 31 件であった。内訳は、試掘調査９件、工事立会 22 件である。関連して踏査を４件実施した。試掘調査は、埋蔵文化財包蔵地およびその隣接地・分布調査未実施地において実施に努めた。工事立会は、工事面積が狭い場合、埋蔵文化財を破壊する恐れが少ないと判断した場合および分布調査未実施地において実施した。

2　調査方法

（1）踏査および分布調査

踏査は開発事業計画地の範囲内およびその周辺において実施し、遺跡の範囲と開発予定区域の平面的な関係を確認する調査である。主に周知の資料により、地形状況や従来の報告等の内容を確認している。ＧＰＳ付のカメラやスマートフォンを活用し、簡易な位置情報を記録しながら踏査した。遺跡台帳の整備を図るため重要遺跡の航空レーザー測量調査を行った。

（2）試掘調査

試掘調査は埋蔵文化財の有無を確認するための部分的な発掘調査である。本市では遺構や遺物の平面的な分布範囲や遺構確認面までの深さ等を把握し、遺跡内容の把握を行う確認調査の側面も有する。調査予定地内にグリッドを設定のうえ試掘溝あるいは試掘坑を配し、表土を人力や重機で除去後、堆積土を人力で除去し、遺構の有無を確認した。

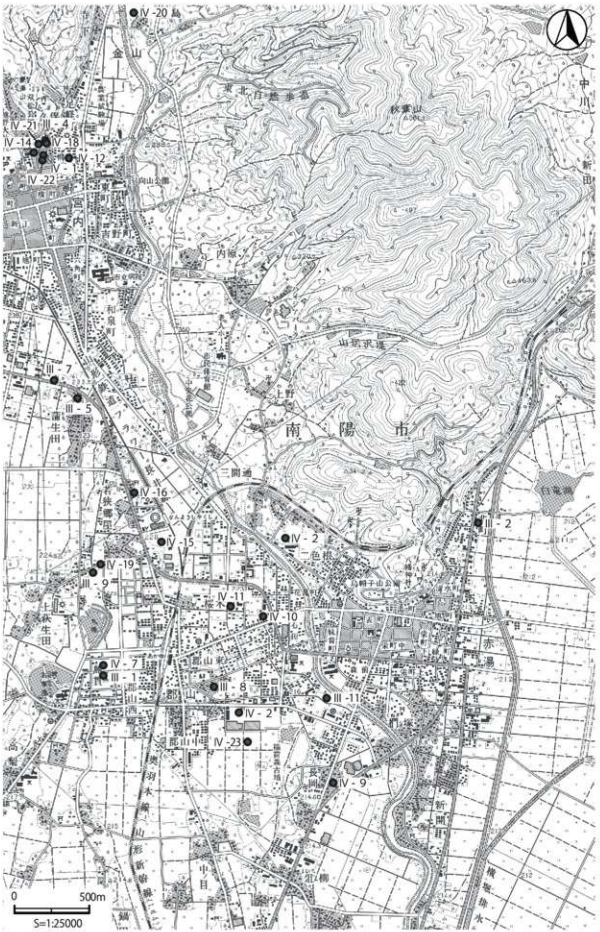
（3）工事立会

工事立会は基本的に開発事業による遺跡への影響が軽微な場合に、工事施工に立ち会って実施し、遺構や遺物が発見された場合には記録保存を行う調査である。工事の進捗に合わせ、土工事を行う際に立ち会いを行い、遺構・遺物の確認および土層の確認を行った。掘削深度は工事の掘底面である。遺跡未確認地の場合も可能な限り工事立会を行い遺跡の把握に努めた。

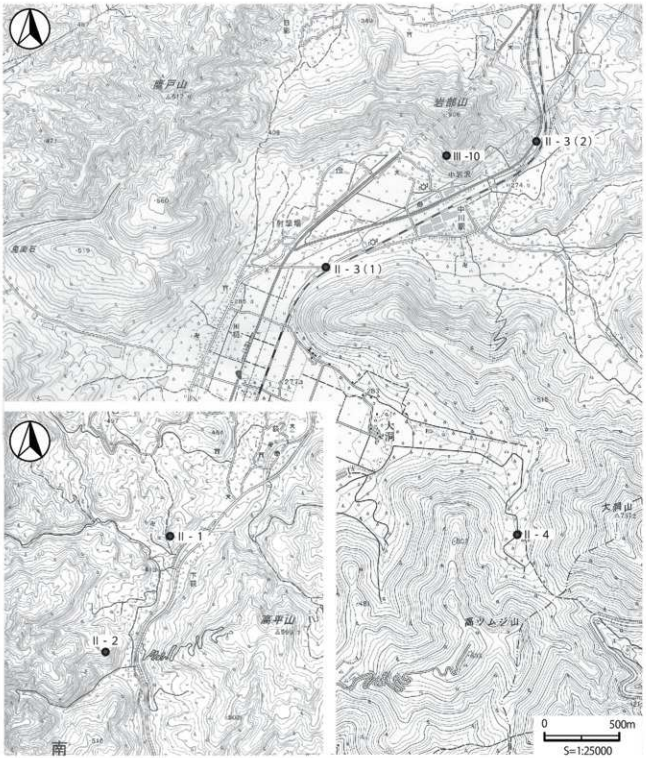
（4）確認調査

埋蔵文化財包蔵地の範囲・性格内容等の概要を把握する部分的な発掘調査である。

第１図　調査位置図（１）


Ⅳ-20 島
金山
東北自然歩道
秋葉山
中川
Ⅳ-21
Ⅲ-4
Ⅳ-14
Ⅳ-18
Ⅳ-12
Ⅳ-1
Ⅳ-22
宮内
吉野町
内堀
山居沢堰
Ⅲ-7
Ⅲ-5
南陽市
圓通
Ⅳ-16
Ⅳ-15
Ⅳ-2
Ⅲ-2
Ⅳ-19
Ⅲ-9
Ⅳ-11
Ⅳ-10
赤湯
Ⅳ-7
Ⅲ-1
Ⅲ-8
Ⅲ-11
Ⅳ-2
Ⅳ-23
Ⅳ-9
0
500m
S=1:25000

第２図　調査位置図（２）



第３図　調査位置図（３）

表１　分布調査表

地区	事業区分	調査期間	遺跡名等	場所	区分	試掘結果等
赤湯	個人住宅建設	3月 23 日	北町遺跡	赤湯字新田前 3336-15	試掘	なし
赤湯	個人住宅建設	6月 29 日	長岡字東田中	長岡 466-1、465-1	立会	なし
赤湯	宅地造成工事	7月 14 ～ 15 日	二色根館跡	二色根字前田、字的場	立会	なし
赤湯	倉庫建て替え（93 条届）	9月 4日	植木場一遺跡	露橋字地蔵堂 355-1	立会	なし
赤湯	下水道工事	9月 22 日	唐越遺跡	三間通字唐越	立会	なし
赤湯	電柱新設	10 月 31 日	早稲田遺跡	郡山字早稲田 547-1	立会	なし
赤湯	宅地造成工事	11 月 8日	李／木遺跡	椚塚字李／木 1632-1、1672-4	試掘	土師器僅少
沖郷	個人住宅建設	3月 16 日	沢田遺跡	島貫字沢田 603-11	試掘	土師器片・須恵器片出土
沖郷	個人住宅建設（93 条届）	3月 20 日	矢ノ目館跡	郡山字砂原 968、967-3	立会	なし
沖郷	個人住宅建設	6月 27 日	蒲生田館跡	蒲生田 1295	試掘	なし
沖郷	個人住宅建設	6月 6日	沢田遺跡	島貫字沢田 603-11	立会	なし
沖郷	個人住宅建設	7月 4日	諏訪前遺跡	三間通字蓑田 54-1、54-3	立会	なし
沖郷	倉庫建て替え	7月 14 日	三間通字諏訪西	三間通字諏訪西	立会	なし
沖郷	車庫建設	9月 26 日	若狭郷屋字浦城	若狭郷屋字浦城 608	立会	なし
沖郷	個人住宅建設	10 月 2日	矢ノ目館跡	郡山字北約 885	試掘	なし
沖郷	宅地造成工事	10 月 18 ～ 19 日	西田遺跡・樋ノ口遺跡	若狭郷屋字玉ノ木 777-2、782-2	試掘	土師器・須恵器片出土
沖郷	電柱新設	10 月 24 日	西田遺跡	若狭郷屋字玉ノ木 777-5	立会	なし
金山	電柱新設	10 月 25 日	平館跡	金山字三石田 434-3	立会	なし
小滝	分布調査	4月 17 日	小屋館跡	下荻字羽黒山、上ノ前	踏査	なし
小滝	分布調査	4月 27 日	下荻館跡	下荻字下見山、館ノ山	踏査	なし
中川	分布調査	8月 29 日	小岩沢地区一里塚	小岩沢地内	踏査	なし
中川	遺跡範囲確認	10 月 23 ～ 26 日	岩部山館跡	川樋字岩部	試掘	なし
中川	分布調査	10 月 26 日	大洞地区	川樋字大洞山	踏査	なし
宮内・沖郷	介護福祉施設建設	9月 13 ～ 14 日	清水上遺跡	宮内字桜田 562、蒲生田字清水上、字町屋敷	試掘	なし
宮内	個人住宅建設	4月 7日	宮内小学校敷地内遺跡隣地	宮内字田町一 3399-1	立会	なし
宮内	個人住宅建築	5月 30 日	富貴田遺跡隣地	宮内字富貴田一 2841-1	立会	なし
宮内	個人住宅建設	6月 1日	池黒字長表	池黒字長表 1312-12	立会	なし
宮内	ガレージ建設	6月 14 日	富貴田遺跡	宮内 938-1	試掘	なし
宮内	個人住宅建設	6日 15 日	久保遺跡	宮内 3642-1、3642-2、3643-1	試掘	なし
宮内	電柱新設	6月 26 日	宮内字田町	宮内字田町 3399-1	立会	なし
宮内	個人住宅建設	7月 24 日	富貴田遺跡	宮内 2803-3	試掘	なし
宮内	個人住宅建設	8月 24 日	宮内字砂押一	宮内字砂押一 2264-9、25、32、36	立会	なし
宮内	準用河川大堰川河川改修工事（94 条届）※令和４年	9月 20 日 ～ 12 月 21 日	久保遺跡	宮内地内	立会	なし
宮内	個人住宅建設	9月 20 日	久保遺跡	宮内字宮町 3477-1	立会	縄文土器片出土
宮内	車庫建設	10 月 6日	大清水遺跡	宮内字大清水一 4671-40	立会	なし
宮内	車庫建設	10 月 10 日	久保遺跡	宮内 2186-1	立会	なし
宮内	電柱新設	10 月 30 日	久保遺跡	宮内字久保 3643-1	立会	縄文土器片出土
宮内	電柱新設	10 月 30 日	宮内字田町二	宮内字田町二 3436-4	立会	なし
宮内	個人住宅建設	11 月 9日	池黒字松畑	池黒字松畑 1226-3	立会	なし

Ⅱ 踏 査

1 小屋館跡

（1）調 査 日　令和5年4月17日

（2）調査場所　南陽市下荻字羽黒山、上ノ前

（3）調査目的　遺跡の現況確認および遺跡台帳の整備

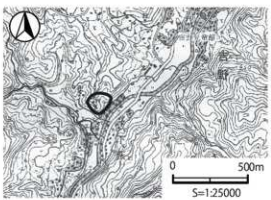
（4）調査方法および内容

昨年度航空レーザー測量を行い作成した赤色立体地図（2023角田）を元に写真撮影を行いながら遺跡範囲を踏査する。

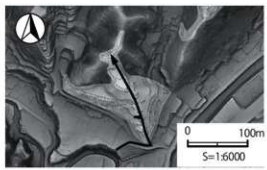
（5）結　果

小屋館跡は小滝街道沿いの中ノ森山の南東端斜面に所在し、館跡とされる場所には弘安3（1280）年創建とされる出羽神社の社殿が建つ（1989南陽市編さん委員会、1995丹波ほか）。参道石段の脇には小曲輪の痕跡とみられる地形があり、主郭とみられる長軸80m短軸18mの平坦地には拝殿と本殿が、その奥の一段高い場所に奥の院（神明堂）が配されている。それらの現況確認および写真撮影を行った。

またそれと並行して、遺跡範囲内に建立された石造物（供養塔・石製祠・石灯籠他）の撮影記録を行った。



第4図　小屋館跡位置図



第5図　小屋館踏査ルート

字上の前方向から見る小屋館跡（南より）

羽黒神社参道　小曲輪跡　（南東より）

羽黒神社参道と石造物（南東より）

羽黒神社拝殿（南東より）

羽黒神社本殿（東より）

羽黒神社石造物「（梵字）」「御坂供養塔」
「享和二（1802）壬戌歳十月吉日」
（東より）

羽黒神社奥ノ院（神明社）（南東より）

2 下荻館跡

（1）調 査 日　令和5年4月27日

（2）調査場所　南陽市下荻字下見山、館ノ山

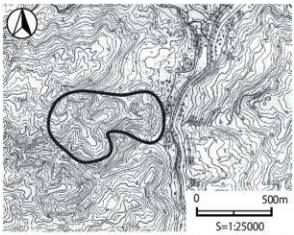
（3）調査目的　遺跡の現況確認および遺跡台帳の整備

（4）調査方法および内容

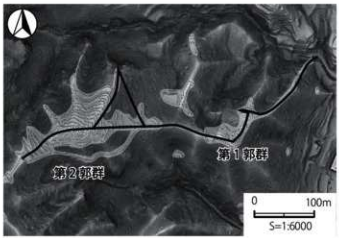
昨年度航空レーザー測量を行い作成した赤色立体地図（2023角田）を元に写真撮影を行いながら遺跡範囲を踏査する。

（5）結　　果

下荻館跡は吉野川および小滝街道の西側の山中に位置し、小滝街道における重要な館跡と思われる。下荻館跡は3つの郭群からなり、第1郭群は物見台等を備えた防御施設として、第2郭群は主郭、第3郭群は搦手とみられる（1993丹波ほか・2022南陽市教委）。今回の踏査は第1郭群から第2郭群について写真撮影をしながら踏査を行った。



第6図　下荻館跡位置図



第7図　下荻館踏査ルート

下荻館跡遠景（東より）

第1郭群遠景（砂防ダム）（北東より）

第１郭群　北側の曲輪（北より）

第２郭群　南側斜面帯曲輪（北東より）

第２郭群　横堀と土塁（南東より）

第２郭群　西側堀切（東より）

参考文献

1989　南陽市編さん委員会「荻　南蔵院文書」『五二 当院元来記録』『五四 荻村鎮守羽黒山元来之事』
南陽市史編集資料第 19 号

1995　丹波虎次郎ほか「山形県中世城館遺跡調査報告書第 1 集（置賜地域）」『小屋館』『下荻館』
山形県教育委員会

2023　角田朋行「南陽市遺跡分布調査報告書（11）」『Ⅴ中世城館等測量調査』
南陽市埋蔵文化財調査報告書第 24 集　南陽市教育委員会

3　小岩沢地区一里塚

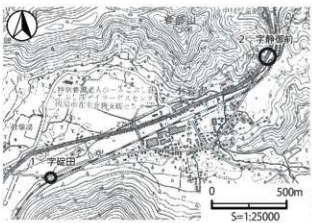
（1）調 査 日　令和5年8月29日

（2）調査場所　南陽市小岩沢地内

（3）調査目的　南陽市文化財保護審議会より小岩沢の一里塚の所在地の把握を求められたため

（5）結　　果

写真史料から「小岩沢一里塚」の位置を推定した。山の形から（1）字碇田（2）字静御前の2カ所を想定したが、写真の覚書にある「廻り戸/「まっと」の一里塚の松」の記述から、一里塚は字静御前地区に存在したとみられる。



第8図　小岩沢一里塚想定位置図

小岩沢の一里塚周辺の写真

廻り戸
「まっと」の一里塚の松
川崎四郎兵衛氏談
大正八年伐採、福昌寺に
長机（飯台）に寄進
小岩沢一里塚の写真の覚書

現在の小岩沢地区　岩部山（左）萱ヶ作山（右）

4　大洞地区

（1）調 査 日　令和5年10月26日

（2）調査場所　南陽市川樋字大洞山

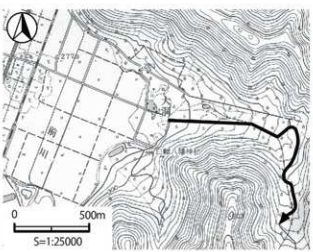
（3）調査目的　未調査地であり、遺跡台帳整備のために現況を確認する。

（4）調査方法および内容

分布調査未実施地域である大洞山一帯について踏査を行う。

（5）結　　果

遺構・遺物は確認出来なかった。



第9図　大洞地区調査踏査ルート

大洞地区全景（東より）

Ⅲ　試掘調査

1　沢田遺跡

（1）調 査 日　令和5年3月16日

（2）調査場所　南陽市島貫字沢田603-11

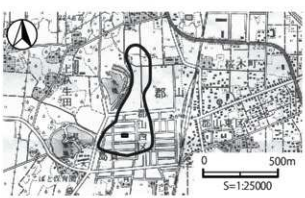
（3）調査原因　個人住宅建設

（4）調査方法および内容

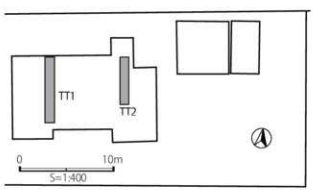
当該地は沢田遺跡範囲内に含まれることから、試掘調査を行うものとした。調査対象範囲に7m×1m、5m×1mの試掘トレンチ各1本を設定し、調査を実施した。

（5）結　果

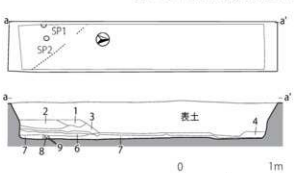
ＴＴ1とＴＴ2の南側を中心に土師器片・須恵器片が出土した。遺構は確認出来なかった。



第10図　沢田遺跡調査位置図



第11図　沢田遺跡トレンチ配置図



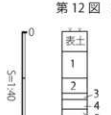
第12図　沢田遺跡ＴＴ1平面図・断面図

TT1

1.10YR3/3　暗褐色粘土層
2.10YR5/4　にぶい黄褐色シルト粘土層
3.10YR4/4　褐色シルト粘土層　明褐色粘土混入
4.10YR3/1　黒褐色粘土層　黒色粘土混入
5.10YR2/1　黒色粘土層　土器片混入
6.10YR3/2　黒褐色砂質粘土層　土器片混入　粗砂と炭化物混入
7.10YR4/2　灰黄褐色砂質粘土層　粗砂と炭化物混入
8.2.5Y3/1　黒褐色砂質粘土層　しまり弱
9.10YR5/3　にぶい黄褐色粘土層　暗灰色粘土少量混入　しまり弱

TT2

1.暗褐色砂質粘土
2.暗黄褐色シルト粘土
3.灰褐色粘土
4.黒色シルト粘土
5.灰黄褐色シルト粘土

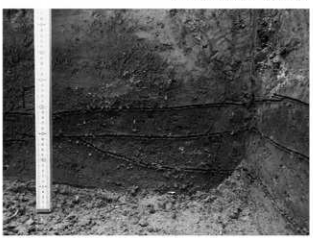


第13図　沢田遺跡ＴＴ2トレンチ
土層柱状図

調査区全景（南西より）

ＴＴ２完掘状況（南より）

ＴＴ１完掘状況（南より）



ＴＴ１土層断面（西より）

ＴＴ２土層断面（東より）

2　北町遺跡

（1）調 査 日　令和5年3月23日

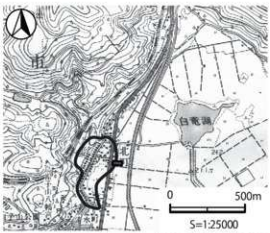
（2）調査場所　南陽市赤湯字新田前3336-15

（3）調査原因　個人住宅建設

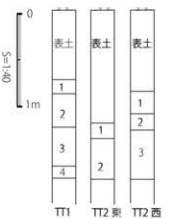
（4）調査目的　当該地は北町遺跡に含まれることから、試掘調査を行うものとした。調査対象範囲に1ｍ×20ｍの試掘トレンチを2本設定し、調査を実施した。

（5）結　　果

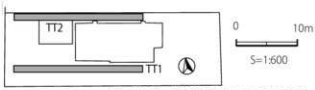
遺物・遺構は確認されなかった。



第14図　北町遺跡調査位置図



第15図　北町遺跡トレンチ土層柱状図



第16図　北町遺跡トレンチ配置図

調査区全景（北東より）

ＴＴ２完掘状況（東より）

ＴＴ１完掘状況（西より）

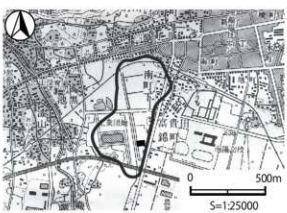
3　富貴田遺跡

（1）調 査 日　令和5年6月14日
（2）調査場所　南陽市宮内938-1
（3）調査原因　ガレージ建設
（4）調査方法および内容

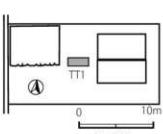
当該地は富貴田遺跡にかかることから、試掘調査を行うものとした。調査対象範囲の95.94㎡に1m×2.5mの試掘トレンチを設定し、調査を行った。

（5）結　　果

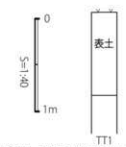
遺物・遺構は確認されなかった。



第17図　富貴田遺跡調査位置図



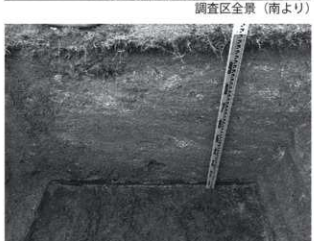
第19図　富貴田遺跡トレンチ配置図



第18図　富貴田遺跡トレンチ土層柱状図

調査区全景（南より）

ＴＴ１トレンチ完掘（西より）


ＴＴ１トレンチ（北より）

4　久保遺跡

（1）調 査 日　令和5年6月15日

（2）調査場所　南陽市宮内 3642-1、3642-2、3643-1

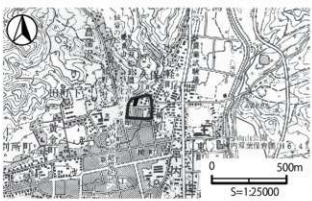
（3）調査原因　個人住宅建設

（4）調査方法および内容

当該地は、久保遺跡に含まれることから、試掘調査を行うものとした。調査対象範囲の138.03㎡に1m×4m、1m×3.5mの試掘トレンチを設定し、試掘を実施した。

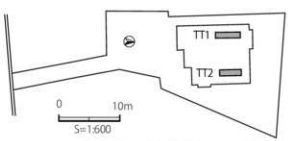
（5）結　　果

ＴＴ1の表土から縄文土器片および現代のものが混入していたが、その下の層からは遺物は出土しなかった。遺構は確認されなかった。



第20図　久保遺跡調査位置図

第21図　久保遺跡トレンチ柱状図



第22図　久保遺跡トレンチ配置図

ＴＴ1トレンチ土層断面（東より）

ＴＴ1トレンチ完掘（南より）

ＴＴ2トレンチ完掘（南より）

ＴＴ2トレンチ土層断面（東より）

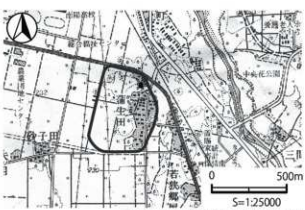
5　蒲生田館跡

（1）調 査 日　令和5年6月27日
（2）調査場所　南陽市蒲生田1295
（3）調査原因　個人住宅建設
（4）調査方法および内容

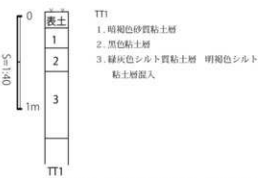
当該地は久保遺跡に含まれることから試掘調査を行うものとした。調査対象範囲の62.10㎡に1ｍ×3.5ｍの試掘トレンチを設定し調査を実施した。

（5）結　　果

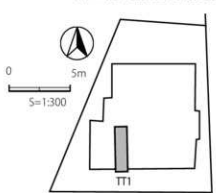
遺物・遺構は確認されなかった。



第23図　蒲生田館跡調査位置図



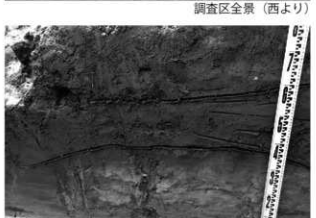
第24図　蒲生田館跡トレンチ柱状図



第25図　蒲生田館跡トレンチ配置図

調査区全景（西より）

ＴＴ１トレンチ完掘状況（南より）


ＴＴ１トレンチ土層断面（南より）